

# 消団連だより

編集・発行  
宇治市消費者団体連絡会

連絡先  
宇治市消費生活センター  
TEL/0774-20-8796

発行日  
2026年3月31日

近畿農政局 消費者団体連絡会会員向け研修会

## 「国の農業政策について聞く」 ～私たちのご飯はどうなるの～

### 講師

高橋博樹さん 近畿農政局企画調整室室長 補佐

水田陽介さん 近畿農政局生産部生産振興課 課長

日時：2025年6月26日（木）

会場：生涯学習センター 第2ホール



参加者 30人。

1. 国の農業政策について（食料・農業・農村基本計画）について、高橋さんにお話を聞きました。

昨年改正された食料・農業・農村基本法に「農業の持続的な発展」が追加されました。また、改正後、消費者の役割として、第14条 消費者は、食料、農業、及び農村に関する理解を深めるとともに、食料の消費に際し、環境への負荷の低減に資する物その他の食料の持続的な供給に資する物の選択に努

めることによって、食料の持続的な供給に寄与しつつ、食料の消費生活の向上に積極的な役割を果たすものとする。特に下線部が追加されました。食料安全保障の確保として「食料の安定的な供給」 ●国内の農業生産の増大の目標に○食料自給率 摂取ベース：53% 国際基準準拠：45%+安定的な輸入の確保+備蓄の確保 ●食料自給力の確保の目標に



○農地の確保 ○サステイナブルな農業構造  
○生産性の向上…スマート農業などがあげられました。高齢化がすすみ車のない生活者が増えていく中で、国民一人一人が入手できるように●物理的なアクセス+経済的アクセス+不測時のアクセスなどがあげられています。  
農村の振興では、農業の基盤の整備や中山間地域等の振興、鳥獣被害対策など。中山間地は観光資源として生かす、泊まって体験するなどの取り組みも模索されています。

2. 日本の食料事情について水田さんにお話を聞きました。

食料自給率の変動要因として、輸入に依存している小麦や大豆の国内生産の拡大が自給率を押し上げる方向に作用する一方で、自給率の高い米等の消費量が減少したこと等が自給率を引き下げる方向に作用。全体として国内生産の増減より、国内消費の変化の影響が大きくなっているとの説明でした。



穀物等の備蓄水準は現在、米、食糧用小麦、飼料穀物については、国として備蓄事業を実施しており、米の備蓄水準についての考え方としては、10年に1度の不作（作況92）や、通常程度の不作（作況94）が2年連続した事態にも、国産米をもって対処し得る水準。他、沢山の表と資料に基づくお話、機械の自動化、ドローン、無人トラクターなど使ったスマート農業、生産性向上に向けた、新品種の育成・導入の話等がありました。

10年に1度の不作（作況92）や、通常程度の不作（作況94）が2年連続した事態にも、国産米をもって対処し得る水準。他、沢山の表と資料に基づくお話、機械の自動化、ドローン、無人トラクターなど使ったスマート農業、生産性向上に向けた、新品種の育成・導入の話等がありました。

### 参加者の感想

- \*日本の食糧事情など、少しわかっていたつもりでしたが、今日お話を聞いて良くわかりました。実家も農家ですが、鳥獣被害には苦労しているようです。
- \*若い人たちが農業を仕事としてやっていけるような政策をお願いしたいです。
- \*私たちの食を支えてくれている農業について、現状課題から今後の政策について幅広く学ぶことができました。
- \*安心・安全な食生活を守るために、私たちにできることをしなければと感じました。
- \*米を生産していますが主たる者が高齢となり世代交代をするように進めています。小さな田で機械も揃えていますが費用が高くて皆と一緒にすると言ってもかかわりがなく大変です。肥料代も高く負担が大きいです。今の価格は生活していくのにいいと思います。
- \*国の農業ではあるが海外との関わり対応についてもとても大切。これからの人口減少だけではなく高齢化にもなっていくこの日本、これからの農業を守りながら若い人も参加できる事業であると良いと思います。

# 見学会 HILLTOP 株式会社

2025年11月19日(水)

ピンク色の壁と大きな窓のある洒落た会社は何をする所？臭いもなく、明るくオープンな仕事場、これがIT 鉄工所でした。IT を使った会社は24時間起動出来る事、その中で大量生産では無い『個々を大切にした物作り』それを可能にしているのは会社全体が社員のモチベーションを大切にしているように思いました。宇治の誇りです。最前線の企業を見学させて頂き有り難うございました。 《参加者の声》



令和7年度 宇治市／

## 消費者月間ロビー展示 に参加しました。

明日の地球を救うため、消費者にできること  
グリーン志向消費～どのグリーンにする？～

日時：2025年(令和7年)5月19日(月)～23日(金)9:00～16:00

会場：宇治市役所1階 市民交流ロビー



『消団連』『宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」』『新日本婦人の会宇治支部』もそれぞれの活動をパネルにして紹介しました。

### 関連企画 図書館×消費生活センターコラボ企画

宇治市図書館3館で、消費生活に関するテーマ図書展示を行いました。

来年度も下記の日程でロビー展示を予定しています。  
どうぞお立ち寄りください！！

日時：2026年5月18日(月)～22日(金)  
9:00～16:00

会場：宇治市役所1階市民交流ロビー(予定)



＜宇治市消費者団体連絡会＞

＊宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」

＊新日本婦人の会 宇治支部